

## 《「現場偵察用ロボット」の操作訓練を実施しました》

9月20日から21日にかけて、当発電所では、万が一、原子力災害が発生した場合に備え、「現場偵察用ロボット」※の操作訓練を実施しました。

原子力災害発生時には、災害の拡大防止を図るため、速やかに発電所建屋内の状況を確認する必要がありますが、放射線量が高い過酷な環境となった場合には、人間に代わって遠隔で操作できるロボットによって設備の状況などを調査します。

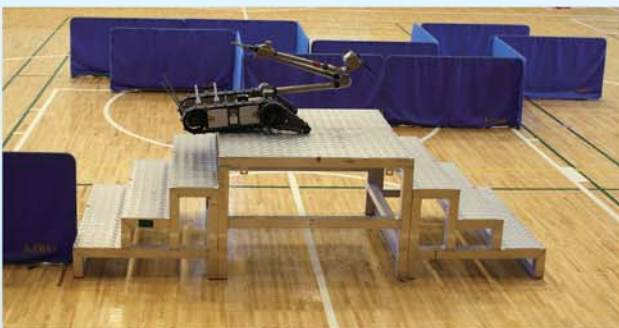
訓練では、「現場偵察用ロボット」2台を使用し、ロボットから送信されるカメラ映像を頼りに、建屋内を模擬した特設コースの移動走行や障害物の撤去、計器指示値の読み取りなど、ロボット操作技術の習熟を図りました。



カメラ映像を見ながらロボットを遠隔操作



2台のロボットが連携して障害物を撤去



階段の昇降や狭い通路を走行

ロボット操作訓練においては、さまざまな状況を想定しながら、操作者自らがロボットの移動するコースを的確に判断することや、互いにコミュニケーションを図り、2台のロボットの位置や距離を確認しながら操作することが非常に重要です。

今後も安全最優先を徹底し、いかなる状況でも対応できるよう、継続して訓練に取り組んでまいります。



保全部 原子炉グループ  
伊藤 勇生(山形県出身)

※「現場偵察用ロボット」は「美浜原子力緊急事態支援センター」が所有するものです。「美浜原子力緊急事態支援センター」は、原子力災害時に速やかに発電事業所へ遠隔操作ロボット等の資機材やそれらの操作要員を派遣し、発電事業者と協働して対応にあたります。また、通常時は、支援に必要な資機材を管理・運用するとともに、各事業者のロボット等操作要員への訓練を実施します。

## 《危険体感教育を実施しました》

9月11日から13日にかけて、当発電所において、発電所員および構内協力企業社員を対象に危険体感教育を実施しました。

3日間で計163名が受講し、転倒・墜落・感電などの疑似体験を通して、作業に潜む危険(リスク)ポイントを学び、安全に対する意識高揚を図りました。

今後とも、労働災害の低減や危険感受性の高い人材の育成に取り組んでまいります。

今回の危険体感教育での疑似体験を通して、現場に潜む危険に対する感度を高めることができました。

私は入社2年目で、経験がまだ浅く、現場作業においても不慣れな部分がありますが、今回の教育で学んだことを生かしながら、今後も安全最優先を徹底し、日々の業務に取り組んでまいります。



保全部 電気グループ  
十文字 温希  
(岩手県出身)



手が濡れた状態と乾いた状態での感電の程度を体感



安全帯ロープを切断し、墜落の際の衝撃や恐怖を体感



約1mの高さからボルト(約40g)をヘルメット上部に落とし、落下物の衝撃の強さを体感



力を入れた先が急に切れると、勢い余って転倒する危険性を体感



## 《交通安全活動を実施しました》

9月26日、当発電所および構内協力企業では、秋の全国交通安全運動に合わせ、安全運転意識の向上を目的とした交通安全活動を行いました。

当日は、出社時間帯に合わせ、発電所周辺の道路に交通安全メッセージが書かれたのぼり旗を掲げ、往来する車両に安全運転を呼び掛けました。



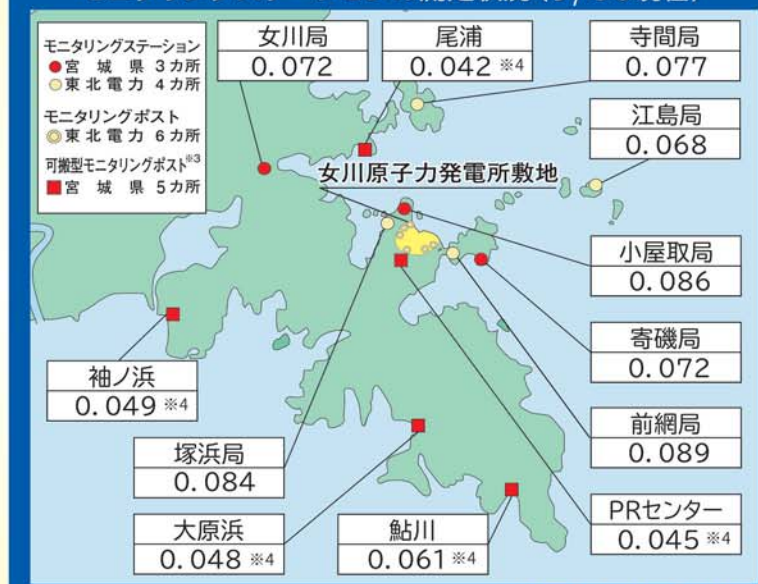
のぼり旗を掲げて交通安全を呼び掛ける発電所員および構内協力企業社員

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.049マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

### モニタリングステーションの測定状況(9/30現在)



### (参考) モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21 ※4 ※5
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098 ※4
2013年4月1日	0.055~0.076 ※4
2014年4月1日	0.046~0.065 ※4
2015年4月1日	0.043~0.077 ※4
2016年4月1日	0.041~0.061 ※4
2017年4月1日	0.038~0.059 ※4
2018年4月1日	0.037~0.048 ※4
2018年9月1日	0.036~0.053 ※4
2018年9月30日	0.036~0.049 ※4

単位: マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。  
 ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。  
 ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。  
 ※4 モニタリングポストや可搬型モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。  
 ※5 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

## 《女川原子力PRセンター「収穫祭2018」を開催します》

10月28日(日)、女川原子力PRセンターにおいて「収穫祭2018」を開催します。

女川原子力PRセンター内の果樹園「スイートガーデン」で育った「りんご・大根・さつまいも」の収穫体験(小学生以下対象)のほか、女川潮騒太鼓「轟会」や石巻好文館高校チアリーディング部「ピーナッツ」をはじめ、石巻・女川地域で活動している団体によるステージなど、さまざまな催しを行います。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひ「収穫祭2018」にお越しください。

開催日時 **10/28日**  
 午前10時~午後3時  
 雨天決行

# 収穫祭2018

東北電力 女川原子力PRセンター

入場無料

### 収穫体験

<b>りんご狩り</b>	1回目 10:30~	2回目 13:00~
<b>大根掘り</b>	1回目 11:00~	2回目 13:30~
<b>さつまいも掘り</b>	1回目 11:30~	2回目 14:00~

※小学生以下対象となります。参加費無料。  
 整理券配布(各回なくなり次第終了)。

### 無料 ふるまいコーナー

<b>いも煮</b>	1回目 11:00~	2回目 13:30~
<b>ミニたい焼き</b>	1回目 11:00~	2回目 13:30~

### 縁日コーナー

館内でスタンプラリーを実施のお子さまに縁日券1枚!

### ご来場のみなさまへ お願い

当日はPRセンターの駐車場はご利用できません。また、付近の路上は駐車禁止ですので交通法規を厳守していただきますようお願いいたします。

### ステージ

<b>女川潮騒太鼓「轟会」</b>	1回目 10:00~ 2回目 12:30~
<b>女川ダンススクール</b>	1回目 10:40~ 2回目 11:45~
<b>石巻好文館高校チアリーディング部「ピーナッツ」</b>	1回目 10:50~ 2回目 13:10~
<b>よさこい舞綺瓊</b>	1回目 11:10~ 2回目 13:30~

### 有料 軽食販売コーナー

フランクフルトや唐揚げ焼きそば・玉こんにゃくなど!

※イベント内容は都合により変更になる場合がございます。

### 事前予約制 無料シャトルバス運行

イベントの詳細のご確認、無料シャトルバスのご予約はこちらのURLまで

<http://syukaku-onagawa.com>

お問い合わせ先 女川原子力PRセンター収穫祭事務局

☎0120-554-566 平日 10:00~17:00(土日祝除く)